

読み書きのLD児を理解するための

## ディスレクシア入門講座

一般社団法人 日本ディスレクシア協会主催

(<http://jdyslexia.com>)

—Reading Teacher 資格制度発足—

日時：10月25日(日)10時～17時15分

場所：ミューザ川崎シンフォニーホール研修室1・2・3

(JR川崎駅西口下車、連絡通路徒歩2分)

2014年5月15日一般社団法人日本ディスレクシア協会が発足しました。ディスレクシアは読み書きのLDです。考える力や話す力は普通に発達していますが、文字情報の操作（読み書き）に困難を抱えるため、国語だけでなく、多くの学習に支障をきたします。発達障害の一種で、注意欠陥多動性障害や対人コミュニケーションの問題をかかえる子どもにも併存することがあります。文字に関することは苦手でも、工作やスポーツ、音楽などに力を発揮している子どももいます。しかし、学習や進学となると、読み書きが必要です。持てる能力を活かせるよう、また、考える力を発揮出来るよう、私たちは支援していかななくてはなりません。日本では、最近、少しずつディスレクシアのことが知られてきましたが、まだ、学校で適切な理解や対応がされているわけではありません。是非、この機会にディスレクシアとはどのようなことかを知って頂き、かつ、どのような対処が必要かを一緒に考えて行こうではありませんか。（文責：代表理事 加藤醇子）

### 午前の部：

司会 安藤壽子（協会理事、お茶の水女子大学教授）

10時～11時 発達障害—読み書きのLDとは？ 加藤醇子（協会理事、クリニック・かとう医師）

11時～12時 学習支援と教材の効果 平松純子（協会事務局長、帝京平成大学）

### 午後の部：

司会 石坂郁代（協会委員、北里大学教授）

13時～14時 ディスレクシアの特徴と支援のありかた 大石敬子（協会理事、多摩北部医療センター）

14時～15時半 事例と指導の実際

低学年事例 原恵子（協会理事、上智大学准教授） 30分

高学年事例 安藤壽子（協会理事、お茶の水大学教授） 30分

説明とアドバイス—原恵子、安藤壽子、大石敬子

15分休憩

司会 平松純子(協会事務局長、帝京平成大学)

15時45分～17時15分 合理的配慮を教育で実践するとき 品川裕香(協会理事、教育ジャーナリスト)

**参加資格** : 関心ある教師、心理士、言語聴覚士、作業療法士、医師、保護者その他の方及び日本ディスレクシア協会会員(賛助会員、正会員)

**参加費** : 一般参加者 : 午前 ¥2000、午後 ¥4000  
保護者賛助会員 : 午前 ¥500、午後 ¥2500  
正会員、保護者以外の賛助会員 : 午前 ¥1000、午後 ¥3000

**Reading Teacher 初級受験資格** :

ディスレクシア児に接する職種の方で、午前午後も受講し、会員及び会員予定の方。

試験方法については、当日お知らせします。

受験料 2000円、資格認定料 3000円

認定後は会員登録が必要です(賛助会員または正会員)

Reading Teacher 資格制度については、当日、配布します。ホームページにも掲載致します。

**申込方法** : 事務局宛てメールにて申し込み [office@jdyslexia.com](mailto:office@jdyslexia.com)

① お名前、②メールアドレス、③一般参加・保護者賛助会員・正会員・保護者以外の賛助会員か、また、④午前・午後・1日かをお知らせ下さい。⑤Reading Teacher 初級受験の申し込みも受け付けます。

数日たっても事務局から参加受付の返信がないときは、再度、ご連絡下さい。

**参加費は、当日徴収致します。**

---

17時30分～19時 ミューザ川崎研修室 1. 2. 3

総会

運営委員会

---